神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Creaters IT	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科 昼間1部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
ミュージシャン、ダンサーが活動していく上で必要なITスキル、またマーケティング思考

【実務者経験】
2005年ビクターエンターテーメントよりメジャーデビュー、2007年より音楽制作所「GLOBAL SKILLS」を起業。数々のアーティストのプロデュース、楽曲制作、編曲を手がける。現在はアニメ、ゲーム業界を中心に活動中。

【到達目標】
様々なアプリケーションを使用するので、7割は使えるように目指す。そして自分にとって一番有益だと感じたアプリにおいてはプロフェッショナルを目指す。

授業計画・内容	
1週目	オリエンテーリングとニーズの抽出
2週目	SNSプロモーション①
3週目	SNSプロモーション②
4週目	SNSプロモーション③
5週目	SNSブランディングの結果考察と課題の抽出
6週目	iMOVIE等を使用した動画スキル①
7週目	iMOVIE等を使用した動画スキル②
8週目	iMOVIE等を使用した動画スキル③
9週目	動画アワード
10週目	YOUTUBEプロモーション①
11週目	YOUTUBEプロモーション②
12週目	YOUTUBEプロモーション③
13週目	オーディション対策①
14週目	オーディション対策②
15週目	振り返り
準備学習 時間外学習	積極的に授業で使用したアプリケーションを使用してみる。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	今もとめられるのはスピード感とセルフプロモーション力です。自分でできる最大限のスキルを身につけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Creaters IT	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科 昼間I部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
ミュージシャン、ダンサーが活動していく上で必要なITスキル、またマーケティング思考

【実務者経験】
2005年ビクターエンターテーメントよりメジャーデビュー、2007年より音楽制作所「GLOBAL SKILLS」を起業。数々のアーティストのプロデュース、楽曲制作、編曲を手がける。現在はアニメ、ゲーム業界を中心に活動中。

【到達目標】
様々なアプリケーションを使用するので、7割は使えるように目指す。そして自分にとって一番有益だと感じたアプリにおいてはプロフェッショナルを目指す。

授業計画・内容	
1週目	前期の振り返りと後期の目標
2週目	Garage Bandを使用した曲のデモ作り①
3週目	Garage Bandを使用した曲のデモ作り②
4週目	Garage Bandを使用した曲のデモ作り③
5週目	コンペティションの勝ち方①
6週目	コンペティションの勝ち方②
7週目	コンペティションアワード
8週目	DAW講座
9週目	CUBASEの使用方法①
10週目	CUBASEの使用方法②
11週目	CUBASEの使用方法③
12週目	MIX講座①
13週目	MIX講座②
14週目	必要な機材についての基礎知識
15週目	振り返り
準備学習 時間外学習	積極的に授業で使用したアプリケーションを使用してみる。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	今もとめられるのはスピード感とセルフプロモーション力です。自分でできる最大限のスキルを身につけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ET1(Ear training 1)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
		授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前期
学科・コース	商業音楽科 昼間1部						

【授業の学習内容】
シンプルなダイアトニック・メロディー、リズム、2度と3度のインターバル、メジャー・トライアドとマイナー・トライアドなどの聴き取りや視唱を行い音感を養う。

【実務者経験】
'03年甲陽音楽学院ジャズピアノ科を首席で卒業。バークリー音楽大学主催ワールドスカラーシップツアーにて奨学金を獲得し'04年留学。初年度から卒業まで毎年、成績上位者リストであるDean's Listに掲載される。'06年同大学を首席で卒業。Jazz、Fusion、Latin、Funk、Gospelなど幅広いジャンルをこなし、特にリハーモニゼーションやコードの組み立てに定評がある。

【到達目標】
音を音名として認識する第一歩。音名を認識しそれを楽譜としてもかけるようになる事。

授業計画・内容	
1週目	▼メロディー：Do, Re ▼リズム：4分音符まで
2週目	▼メロディー：Do, Ti ▼リズム：4分音符まで
3週目	▼メロディー：Ti, Do, Re（音跳びなし・あり） ▼リズム：4分音符まで ▼インターバル練習：Major 2nd（長二度）／Minor 2nd（短二度）
4週目	▼メロディー：[Ti], Do, Re, Mi（音跳びなし・あり） ▼リズム：4分休符 ▼インターバル練習：Major 2nd（長二度）／Minor 2nd（短二度）
5週目	▼メロディー：[Ti], Do, Re, Mi, Fa（音跳びなし・あり） ▼リズム：4分休符 ▼インターバル練習：Major 3rd（長三度）／Minor 3rd（短三度）
6週目	▼メロディー：[Ti], Do, Re, Mi, Fa（音跳びあり） ▼リズム：4分音符／4分休符 ▼インターバル練習：Major 3rd（長三度）／Minor 3rd（短三度）
7週目	▼メロディー：[Ti], Do, Re, Mi, Fa, So（音跳びなし） ▼リズム：8分音符 ▼コード練習：Major Triad（長三和音）／Minor Triad（短三和音）＜基本形＞
8週目	▼メロディー：[Ti], Do, Re, Mi, Fa, So（音跳びあり） ▼リズム：8分音符 ▼コード練習：Major Triad（長三和音）／Minor Triad（短三和音）＜基本形＞
9週目	▼メロディー：[Ti], Do, Re, Mi, Fa, So, La（音跳びなし） ▼リズム：8分音符 ▼インターバル練習：2音・3音（復習）
10週目	▼メロディー：[Ti], Do, Re, Mi, Fa, So, La（音跳びあり） ▼リズム：8分音符／8分休符 ▼インターバル練習：2音・3音（復習）
11週目	▼メロディー：[Ti], Do, Re, Mi, Fa, So, La（音跳びなし） ▼リズム：8分音符／8分休符 ▼コード練習：Major Triad（長三和音）／Minor Triad（短三和音）＜基本形＞
12週目	▼メロディー：[La, Ti], Do, Re, Mi, Fa, So, La, Ti（音跳びあり） ▼リズム：8分音符／8分休符 ▼インターバル練習：Major 2nd（長二度）／Minor 2nd（短二度）
13週目	▼メロディー：Do, Re, Mi, Fa, So, La, Ti, Do ▼リズム：8分音符・8分休符 ▼インターバル練習：Major 2nd（長二度）／Minor 2nd（短二度） ▼コード練習：Major Triad（長三和音）／Minor Triad（短三和音）＜基本形＞第1転回形・第2転回形
14週目	授業内試験
15週目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	毎回の授業での経験の積み重ねが最も重要。頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ET2(Ear training 2)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科 昼間1部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
少し複雑なダイアトニックメロディー、リズム、5度までのインターバル、すべてのトライアドの聴き取りや視唱を行い、音感を磨いていく。

【実務者経験】
'03年甲陽音楽学院ジャズピアノ科を首席で卒業。バークリー音楽大学主催ワールドスカラーシップツアーにて奨学金を獲得し'04年留学。初年度から卒業まで毎年、成績上位者リストであるDean's Listに掲載される。'06年同大学を首席で卒業。Jazz、Fusion、Latin、Funk、Gospelなど幅広いジャンルをこなし、特にリハーモニゼーションやコードの組み立てに定評がある。

【到達目標】
音名を認識しそれを楽譜としてもかけるようになる事。

授業計画・内容	
1週目	▼メロディー Do,Re,Ti,Re,Do ▼リズム ▼インターバル m3,M2,m2
2週目	▼メロディー Do,Re,Mi,Re,Ti,Re,Do ▼リズム ▼コード：Triad（Major, Minor）＜基本形と転回形＞
3週目	▼メロディー Do,Re,Mi,Fa,Ti,Re,Do ▼リズム ▼インターバル M2,M3,P4,m2 −5
4週目	▼メロディー Do,Mi,Sol,Fa,Mi,Do,Ti,Re,Do ▼リズム ▼コード：7th Chord（Major 7th, Minor 7th）＜基本形と転回形＞
5週目	▼メロディー Do,Re,Mi,Fa,So,La,Ti,Do ▼リズム ▼インターバル m2,M2,M3,m3,P4,P5,M6
6週目	▼メロディー Do,Re,Mi,Fa,Sol,La,Ti,Do,Do,Sol,Mi,Fa,Re,Ti,Do ▼リズム ▼コード：Major 7th Chord＜Major 7thコードの転回形＞
7週目	▼メロディー Do,So,La,So,Do,Fa,Mi,Re,Do ▼リズム ▼インターバル m3,M2,m2
8週目	▼メロディー Do,So,La,Ti,Do,Sol,Fa,Re,Do ▼リズム ▼コード：Dominant 7th Chord＜Dominant 7thコードの転回形＞
9週目	▼メロディー Do,Re,Do,La,So,Fa,Mi,Ti,Do ▼リズム ▼インターバル m6,M6
10週目	▼メロディー 今まで習った内容から ▼メロディー／マイナー Do,Re,Me,Fa,Me,Re,Do ▼リズム ▼コード：Major 7th Chord＜Minor 7thコード＞
11週目	▼メロディー 今まで習った内容から ▼メロディー／マイナー Do,Re,Me,Fa,Sol,Le,Te,Do,Te,Le,Sol,Fa,Me,Re,Do ▼リズム ▼インターバル m2,M7,m3,M6,M3,m6,P4,m7
12週目	▼メロディー 今まで習った内容から ▼メロディー／マイナー Do,Me,Do,Sol,Fa,Sol,Le,Te,Do,Sol,Me,Te,Do ▼リズム ▼コード：今までに学習したコード
13週目	▼メロディー 今まで習った内容から ▼メロディー／マイナー 今まで習った内容から ▼リズム ▼インターバル m6,M2,m3,m7,M3
14週目	授業内試験
15週目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	毎回の授業での経験の積み重ねが最も重要。頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	LDH Project LDH Project	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部	授業形態	講義	総時間	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】
マネージメント、人材育成に携わる業務学習

【実務者経験】
株式会社 LDH JAPANに入社し、新人発掘、数多くのアーティストの人材育成/マネージメントに携わる。現在は、EXPG京都校にて業務を行う。

【到達目標】
エンターテインメント業界で活躍できる人材

授業計画・内容	
1週目	自己紹介＋expgとは？
2週目	1年後、3年後、10年後の自分＋プレゼン
3週目	1年後、3年後、10年後の自分＋プレゼン
4週目	expg仕事内容について①（イベント）
5週目	expg仕事内容について①（イベント）
6週目	expg仕事内容について②（マネージメント）
7週目	expg仕事内容について②（マネージメント）
8週目	expg仕事内容について③（事務、営業、宣伝）
9週目	expg仕事内容について③（事務、営業、宣伝）
10週目	THE STAGEに向けての準備
11週目	THE STAGEに向けての準備
12週目	THE STAGE 実務実習を終えて
13週目	THE STAGE 実務実習を終えて
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	一緒に頑張りましょう

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	LDH Project LDH Project	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部	授業形態	講義	総時間	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】
前期に引き続き、人材育成方法を考える

【実務者経験】
株式会社 LDH JAPANに入社し、新人発掘、数多くのアーティストの人材育成/マネージメントに携わる。現在は、EXPG京都校にて業務を行う。

【到達目標】
エンターテインメント業界で活躍できるアーティストの育成

授業計画・内容	
1週目	expg仕事内容について①（事務、営業、宣伝）
2週目	expg仕事内容について①（事務、営業、宣伝）
3週目	expg仕事内容について②（マネージメント）
4週目	expg仕事内容について②（マネージメント）
5週目	expg仕事内容について②（マネージメント）応用
6週目	expg仕事内容について②（マネージメント）応用
7週目	expg仕事内容について③（人材育成）
8週目	expg仕事内容について③（人材育成）
9週目	expg仕事内容について③（人材育成）
10週目	THE STAGEⅡに向けての準備
11週目	THE STAGEⅡに向けての準備
12週目	THE STAGEⅡ 実務実習を終えて
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	一緒に頑張りましょう

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	LTベーシック LT BASIC	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ｉ部	授業形態	演習	総時間	180	開講区分	前期

【授業の学習内容】
舞台照明全般
電気について

【実務者経験】
1998年鶴見花博メインホール・1999年4月～2001年10月新神戸オリエンタル劇場照明技術担当・
2002年4月～2005年7月梅沢劇団にて照明ツアーメンバーとして業務にあたる。
2005年9月～2008年8月新神戸オリエンタル劇場照明チーフ・2009年7月有限会社プラム入社

【到達目標】
前期：仕込み図を理解し実行できる
後期：簡単なプログラミングができる

授業計画・内容	
1週目	舞台照明の概要・目的 / 安全衛生・現場での危険について / アナログ信号とデジタル信号
2週目	舞台照明の歴史と現在・未来 / アナログ信号とデジタル信号
3週目	仕込み図の読み取り方1 / 電気について1 / カラーフィルター・コネクターについて
4週目	仕込み図の読み取り方2 / システムについて1
5週目	仕込みについて1 / 電気について2 / 機材の種類・使用方法
6週目	仕込みについて2 / システムについて2 / フォロースポットについて
7週目	仕込み図の書き方1 / 常設ホール・仮設 / フォロースポットのCueについて
8週目	仕込み図の書き方2 / 海外の照明 / フォロースポットのCueについて（海外）
9週目	8週目までの復習・質問 / 空間照明
10週目	題材を想定して仕込み図を考える1 / シュミレーションソフトについて1
11週目	題材を想定して仕込み図を考える2 / シュミレーションソフトについて2
12週目	実際に仕込みをする
13週目	パッチ・パレットの作り方 / プログラミング
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	エンターテインメント業界を目指すにあたって、舞台照明の楽しさを理解して欲しいです。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	LTベーシック LT BASIC	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	180	開講区分	後期

【授業の学習内容】
舞台照明全般
電気について

【実務者経験】
1998年鶴見花博メインホール・1999年4月～2001年10月新神戸オリエンタル劇場照明技術担当・
2002年4月～2005年7月梅沢劇団にて照明ツアーメンバーとして業務にあたる。
2005年9月～2008年8月新神戸オリエンタル劇場照明チーフ・2009年7月有限会社プラム入社

【到達目標】
前期：仕込み図を理解し実行できる
後期：簡単なプログラミングができる

授業計画・内容	
1週目	前期の復習（特に電気関連・電源からユニットまでの接続方法）・電源図面について
2週目	デジタル機材の仕様/FixtureSeetの読み取り方/機能について
3週目	仕込み図の詳細な設計・施工 / パッチングについて
4週目	仕込み図の詳細な設計・施工 / パッチングについて
5週目	LightingConsolについて（日本製品・海外製品の違い）① / PinSpotについて
6週目	LightingConsolについて（日本製品・海外製品の違い）② / PinSpotについて
7週目	仕込み図を実際に設計する①（仮想ステージを設計し簡易なもの） / CUE・きっかけについて①
8週目	仕込み図を実際に設計する②（仮想ステージを設計し簡易なもの） / CUE・きっかけについて②
9週目	PinSpotを使用して、きっかけに合わせて実際にフォローする①
10週目	PinSpotを使用して、きっかけに合わせて実際にフォローする②
11週目	LIVEを想定した図面の作成
12週目	作成した図面を実際に施工
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	エンターテインメント業界を目指すにあたって、舞台照明の楽しさを理解して欲しいです。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	MT1(Music Theory 1)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
		授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前期
学科・コース	商業音楽科 昼間I部						

【授業の学習内容】
音楽理論の勉強を進めていく上で必要な音楽の基礎知識を習得する。

【実務者経験】
大学を卒業後、甲陽音楽学院に入学。ピアノをフィリップストレンジ氏に、理論・アレンジを荒崎英一郎氏に師事。その後、25歳からポップス・ジャズ・フュージョンなどでプロとしての音楽活動に入る。ライブハウス・スタジオでの演奏活動に加え、TVでの録音やテーマパークの楽曲アレンジ制作などの分野で活躍中。MIDI検定1級所持。

【到達目標】
ハーモニーの学習を進めてゆくために必要な基本的な知識（ダイアトニックスケール、調号、調関係、インターバル、三和音、四和音など）を学び、身につける。

授業計画・内容	
1週目	ダイアトニック・スケール（メジャー・スケールとマイナー・スケール）
2週目	ダイアトニック・スケール（メジャー・スケールとマイナー・スケール）
3週目	調号、五度圏、調関係
4週目	調号、五度圏、調関係
5週目	インターバル（度数）
6週目	インターバル（インターバルを特定する名称）
7週目	インターバルの読み書き練習
8週目	インターバルの転回、単音程と複音程
9週目	インターバルのまとめと演習
10週目	コードとコードネーム（トライアド）
11週目	コードとコードネーム（セブンス・コード）
12週目	コードとコードネーム（その他のコードと転回形）
13週目	コードとコードネーム（その他のコードと転回形）
14週目	授業内試験
15週目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	基礎とは言え、中身がとても濃い授業で覚える事がたくさんあり今後役に立つことばかりで楽しいです。コツコツ休まず頑張る事が一番重要です。頑張ろう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	MT1(Music Theory 1)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
		授業形態	講義	総時間	60	開講区分	後期
学科・コース	商業音楽科 昼間I部						

【授業の学習内容】
作曲やアドリブを考えて行えるようになる為の第一歩となる知識の習得。

【実務者経験】
大学を卒業後、甲陽音楽学院に入学。ピアノをフィリップストレンジ氏に、理論・アレンジを荒崎英一郎氏に師事。その後、25歳からポップス・ジャズ・フュージョンなどでプロとしての音楽活動に入る。ライブハウス・スタジオでの演奏活動に加え、TVでの録音やテーマパークの楽曲アレンジ制作などの分野で活躍中。MIDI検定1級所持。

【到達目標】
ダイアトニックハーモニーを中心としたコードプログレッションの基本を学び、アナライズの方法やコードスケールを学び、知識を身につける。

授業計画・内容	
1週目	メジャーのダイアトニックコード
2週目	メジャーのダイアトニックコード
3週目	コードスケール
4週目	コードスケール
5週目	ケーデンス、ドミナントレゾリューション、セカンダリードミナント
6週目	ケーデンス、ドミナントレゾリューション、セカンダリードミナント
7週目	Ⅱ－Ⅴ、リレイテッドⅠim7、ディセプティブレゾリューション
8週目	Ⅱ－Ⅴ、リレイテッドⅠim7、ディセプティブレゾリューション、ハーモニックリズム
9週目	Ⅱ－Ⅴ、リレイテッドⅠim7、ディセプティブレゾリューション
10週目	マイナーのダイアトニックコード
11週目	マイナーのダイアトニックコード
12週目	ブルース
13週目	ボイスリーディング
14週目	授業内試験
15週目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	休まないように！一緒に頑張っていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名	PAベーシック （ PA basic ）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習・講義	総時間	180	開講区分	前期

【授業の学習内容】PAエンジニアになるために必要な知識やテクニックを実習を通じて学ぶ。

【実務者経験】有限会社津川プロにて、音響エンジニアとして勤務後、代表取締役社長に就任。関西を中心に、音楽ライブ、ダンスイベント、ミュージカル等の音響エンジニアとして活躍中。

【到達目標】PA エンジニアとしての基礎　音響信号の流れを理解し,各種機材のセッティング、電源の重要性、安全性の確保ができる。　現代PAシステムの理解と興味を持たせる。

授業計画・内容	
1週目	PA基礎　音とは　PAエンジニアとしての心構え/機材について
2週目	PA基礎　音が出るまでのセッティング1/機材の名称　in-outまで
3週目	PA基礎　音が出るまでのセッティング2/プロのエンジニアの意味
4週目	PA基礎　音が出るまでのセッティング3/良い音とは？追求方法について
5週目	マイク　スタンド　スピーカーについて
6週目	音の伝送方式を理解する 1 アナログ回路のメリット　デメリット
7週目	音の伝送方式を理解する 2デジタル機器へのアプローチ方法
8週目	音の伝送方式を理解する 3 デジタルオーディオネットワークとは
9週目	デジタルオーディオネットワークDante
10週目	Kara systemを知る/アンプリモート　プロセッシングなど
11週目	PM7を操作する為に必要な知識など
12週目	実技テストへ向けて
13週目	実技テスト
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	一緒にがんばりましょう！

【使用教科書・教材・参考書】
ipod/Mac/PC

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	PAベーシック（ PA basic ）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習・講義	総時間	180	開講区分	後期

【授業の学習内容】PAエンジニアになるための知識やテクニックを実習を通じて学ぶ。

【実務者経験】有限会社津川プロにて、音響エンジニアとして勤務後、代表取締役社長に就任。関西を中心に、音楽ライブ、ダンスイベント、ミュージカル等の音響エンジニアとして活躍中。

【到達目標】 バンドミックスがスムーズにできる。

授業計画・内容	
1週目	ライブサウンドの作り方と取り組み方
2週目	デジタルミキサー1　遠隔操作　PCでのEDIT
3週目	バンドセッティング　調整方法1
4週目	バンドセッティング　調整方法2
5週目	バンドセッティング　調整方法3
6週目	スピーカーチューニング1/様々な方法の紹介
7週目	スピーカーチューニング2/実践
8週目	ラインアレイ　理論1
9週目	ラインアレイ　理論2/リギング関係実践
10週目	ワイヤレスマイクについて/電波の概要、音波
11週目	モニター分岐のやり方
12週目	モニター操作
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	一緒にがんばりましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	PA概論（introduction of sound technician）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】
応用知識と判断能力を総合的に捉え、自分の目標する音・舞台イメージを確立、創造的な作品を創れようになる。
対話式講義、演習を通し、知識・用語・機器操作そして、グループで共有できるプラン創りを習得し、舞台・放送制作等の共同制作　現場で活躍できるベースを身に着ける。

【実務者経験】
一般社団法人　日本音響家協会（SEAS）　副会長、京都音響技術者懇話会　事務局長、AES（Audio Engineering Society）日本支部会員、社団法人　日本オーディオ協会（JAS）会員
ラジオ1.2.3スタジオの光MADIによるネットワーク型フルデジタルシステムで更新、スタジオ放送設備・建築音響・内装レイアウト・照明や電源設備等、すべてを設計監修。（放送技術発表）ほか、ラジオCM用ハイクオリティネットワーク型、収録編集スタジオ設計監修（放送技術発表）

【到達目標】
総合的な舞台基礎知識、音響基礎知識と身に着け、業界で信用される人となる
舞台等の、総合的なプラン創造力・判断力が・音響デザイン理論を学習・実習する
エンターテイメントの創造、感動を演出する能力を身に着ける

授業計画・内容	
1週目	イントロダクション＆コミュニケーション
2週目	劇場・舞台設備の歴史と概要、音響見地からの歴史・形状・目的を知る
3週目	音楽・演劇の音響ｱﾌﾟﾛｰﾁ、演目の知識及び音響の仕事・電気音響の基礎知識
4週目	舞台での進行を知る。音響以外の進行・作業そして音響の作業を学ぶ
5週目	SRの基本と仕事の求められる内容と役割　音響エネルギーとは
6週目	ﾏｲｸﾛﾌｫﾝの種類と性格、機能:動作原理と用途学ぶ
7週目	調整卓・:ﾐｷｻｰの基本機能と操作信号の流れ機能を学ぶ
8週目	出力:・ｽﾋﾟｰｶｰの種類と特徴、用途を学ぶ　パワーアンプも含む
9週目	音響効果と再生技術、生にない効果音等、音源の録音/再生を学ぶ
10週目	接続:・音響信号の回線、接続、ｺﾈｸﾀｰの種類等、構成を学ぶ　ノイズ対策も含む
11週目	舞台・イベント等での電源の役割、大切さを学ぶ
12週目	音響プランの組み方、読み方。指示の出し方、受け方
13週目	前期での全体項目、質疑、補習
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	音楽だけに散らわれず、舞台。放送、WEBそして社会の騒音にも、すべてに興味・疑問を持つ 聴衆、聴き手から創造者としての見方に日々切り替える努力をする
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	エンターテイメントの業界で自己表現を実現出来るように基礎を理解する学習します 多様な場面、要望において、成功・感動できる創造性と結果を引き出せる事を身につけましょう 舞台機構調整技能士（音響）等、資格の取得も目標とする。

【使用教科書・教材・参考書】
プロ音響データブックを予定　（2019年8月に改訂予定）

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	PA概論（introduction of sound technician）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】
応用知識と判断能力を総合的に捉え、自分の目標する音・舞台イメージを確立、創造的な作品を創れようになる。
対話式講義、演習を通し、知識・用語・機器操作そして、グループで共有できるプラン創りを習得し、舞台・放送制作等の共同制作　現場で活躍できるベースを身に着ける。

【実務者経験】
一般社団法人　日本音響家協会（SEAS）　副会長、京都音響技術者懇話会　事務局長、AES（Audio Engineering Society）日本支部会員、社団法人　日本オーディオ協会（JAS）会員
ラジオ1.2.3スタジオの光MADIによるネットワーク型フルデジタルシステムで更新、スタジオ放送設備・建築音響・内装レイアウト・照明や電源設備等、すべてを設計監修。（放送技術発表）ほか、ラジオCM用ハイクオリティネットワーク型、収録編集スタジオ設計監修（放送技術発表）

【到達目標】
総合的な舞台基礎知識、音響基礎知識と身に着け、業界で信用される人となる
舞台等の、総合的なプラン創造力・判断力が・音響デザイン理論を学習・実習する
エンターテイメントの創造、感動を演出する能力を身に着ける

授業計画・内容	
1週目	各種楽器の音を知り　マイクセットアプローチを学ぶ
2週目	スピーカー拡声音の伝わり方と伝達関数を知り、関数を利用した簡易チューニング
3週目	収音・ﾏｲｸのｾｯﾃｨﾝｸﾞﾃｸﾆｯｸの詳細
4週目	エフェクター（ダイナミックス・イコライザー・リバーブ）の実習と講座
5週目	ワイヤレスシステムの機器・電波法知識と運用方法　安全衛生・非常放送等
6週目	デジタル音響システム　信号とネットワークを学ぶ　アナログ比較含む
7週目	音源ストレージ・アウトボード運用・デジタルプラグイン・自動化便利ツール等
8週目	音響効果と再生技術、生にない効果音等、音源の録音/再生を学ぶ
9週目	総合基礎知識確認とプラン作りのためのワークショップ
10週目	イベント現場等、空間に合った音響プラン・ミキシングデザイン、その為には
11週目	規模・ジャンル別のSRプラン及び回線を組み、調整・ミキシング
12週目	舞台音響 関連基礎知識（舞台機構・照明・カメラ・映像・プロジェクター） 纏め
13週目	ワークショップ（海外研修）
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	音楽、舞台、放送、レコーディング、WEBそして音に関連するすべての事象に興味・疑問を持つ　聴衆、聴き手の立場から、クリエイターとしての見方、アプローチを考える 機器準備、セッティング、調整、ミキシング、片付けを自己完結出来るよう
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	エンターテイメントの業界で自己表現を実現出来るように基礎を理解する学習します 多様な場面、要望において、成功・感動できる創造性と結果を引き出せる事を身につけましょう 舞台機構調整技能士（音響）等、資格の取得も目標とする。

【使用教科書・教材・参考書】
舞台機構調整技能士3級　過去問題ナビ
プロ音響データブックを予定　（2019年8月に改訂）

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	イベントプロデュース1（Event Produce 1）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部	授業形態	講義・演習	総時間	180	開講区分	前期

【授業の学習内容】
前期での学習を基により実践的に現場での動きと制作、推進力を身に付ける

【実務者経験】
国家事業系イベント　セクション管理・式典進行/金沢マラソン　フィニッシュエリア全体統括
大阪マラソン　特別ランナー対応（著名人・有名人）統括管理/USJ　期間アトラクションマネジメント管理、進行管理（SM）
各種コンサート　進行チーム/各種イベント　運営・企画・制作・舞台監督・進行・制作・演出　他

【到達目標】
社会人・プロの業界人として最低限の知識の構築と月に1度のイベント企画を実際に行うことで、より実践的な知識を深めること及び企画力の向上を目標とする。

授業計画・内容	
1週目	定期ライブに向けて準備・制作
2週目	定期ライブに向けて準備・制作
3週目	定期ライブに向けて準備・制作
4週目	企画推進について
5週目	定期ライブに向けて準備・制作
6週目	定期ライブに向けて準備・制作
7週目	定期ライブに向けて準備・制作
8週目	企画推進について
9週目	定期ライブに向けて準備・制作
10週目	定期ライブに向けて準備・制作
11週目	定期ライブに向けて準備・制作
12週目	企画推進について
13週目	1年の総まとめ
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	情熱をもって取り組んでください。

【使用教科書・教材・参考書】

特になし

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	イベントプロデュース1（Event Produce 1）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部	授業形態	講義・演習	総時間	180	開講区分	後期

【授業の学習内容】
イベント制作のノウハウ、現場での動き方を身に付ける。

【実務者経験】
国家事業系イベント　セクション管理・式典進行/金沢マラソン　フィニッシュエリア全体統括/
大阪マラソン　特別ランナー対応（著名人・有名人）統括管理/USJ　期間アトラクションマネジメント管理、進行管理（SM）
各種コンサート　進行チーム/各種イベント　運営・企画・制作・舞台監督・進行・制作・演出　他

【到達目標】
社会人・プロの業界人として最低限の知識の構築と月に1度のイベント企画を実際に行うことで、より実践的な知識を深めること及び企画力の向上を目標とする。

授業計画・内容	
1週目	概要説明と自己紹介 ・レクリエーション
2週目	企画書作成とプレゼンテーション　LS-1実習制作
3週目	運営・進行・企画・制作について
4週目	企画書作成とパワーポイントについて
5週目	学園祭に向けて準備・制作
6週目	学園祭に向けて準備・制作
7週目	学園祭振返り　次回ライブに向けて
8週目	マニュアル制作について
9週目	高校生バンドフェスに向けての制作
10週目	高校生バンドフェスに向けての制作
11週目	定期ライブに向けて準備・制作
12週目	定期ライブに向けて準備・制作
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	情熱をもって取り組んでください。

【使用教科書・教材・参考書】

特になし

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校 科目シラバス

科目名（英）	サウンドデザインⅠ Sound design Ⅰ	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】サウンドシステムを基礎から学び運用スキルを身につける。
インターンや企業研修等と並行して現場の(今)を理解し、本学ホールの運営や管理等の業務経験も行う。

【実務者経験】　大阪芸大在学中にPAや録音のアシスタントを経験、大学中退後、’94年「ONE VOICE」設立し、フォーライフレコード在籍のアーティストのツアーやマイクスターンのジャパンツアーのサポートや小曽根真トリオツアー後、現在京都劇場音響管理部門に在籍し、「劇団四季」の公演を担当。

【到達目標】舞台芸術を理解、把握してエンジニアとしてアプローチ出来るようになる。

授業計画・内容	
1週目	オリエンテーション 音に関する基礎知識。舞台人としての心構え
2週目	音の三大要素や時間的変化
3週目	音場 音楽の再生環境について
4週目	音響心理 耳の特性
5週目,	デジタルオーディオとアナログオーディオの基礎知識
6週目	サウンドシステムのシグナルフロー インプットからアウトプットまで LIVE編
7週目	サウンドシステムのシグナルフロー ミュージカルやダンス編
8週目	ステージの仕込みについて。何故仕込み図面が必要か
9週目	ステージの転換作業について。バミリが必要な訳や暗転中の転換など
10週目	システムでの音出し。システムの立ち上げから出力チェックまで。
11週目	マイクや音源を使ってシステムの音出し。ヘッドアンプレベルの決め方
12週目	システムでの基礎的なフェーダーバランスを取る
13週目	初歩的なバンド実習とルーム調整
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	1つ1つ確実に学んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校 科目シラバス

科目名（英）	サウンドデザイン Ⅰ Sound design Ⅰ	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】サウンドシステムを基礎から学び運用スキルを身につける。
インターンや企業研修等と並行して現場の(今)を理解し、本学ホールの運営や管理等の業務経験も行う。

【実務者経験】 大阪芸大在学中にPAや録音のアシスタントを経験、大学中退後、’94年「ONE VOICE」設立し、フォーライフレコード在籍のアーティストのツアーやマイクスターンのジャパンツアーのサポートや小曽根真トリオツアー後、現在京都劇場音響管理部門に在籍し、「劇団四季」の公演を担当。

【到達目標】 舞台芸術を理解、把握してエンジニアとしてアプローチ出来るようになる

授業計画・内容	
1週目	前期を振り返って 不確定を補習する
2週目	システムの調整 音場のラウドネスレベルをきめる。音圧が高いDanceやRockに対応する
3週目	システムの調整 高度な音質調整なアコースティック音楽に対応する
4週目	ハウスシステムとモニターの関連性や再生環境
5週目	モニターシステムのコントロール。音量とハウリング
6週目	モニターシステムのコントロール。 多チャンネルモニター MIXバランスによるモニタリング
7週目	音作りのためのエフェクター研究
8週目	ホールのミキサーの入出力数やフライングスピーカーのカバーエリア等を確認する
9週目	マイクと音源の関係 LineやDIを使う意味
10週目	次回からのGest実習の為の回線表やステージ図面を作成する
11週目	Gestを迎えて実習 アコースティック編
12週目	Gestを迎えて実習 音量と音圧をコントロール。小編成のバンド。
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	1つ1つ確実に学んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽ンス専門学校
シラバス

科目名（英）	プランニングベーシック Planning basic	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習・講義	総時間	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】
音楽業界に求められる人材、その為に自分の得意分野をもつこと、さらには現場のまめ知識と雑学、などがテーマ。

【実務者経験】中央大学商学部卒業後、イルカオフィス入社しマネージメントを学ぶ。その後レコード会社の東芝EMIでは宣伝で主にテレビ＆ラジオメディアを担当し、小沢健二・黒夢・布袋寅泰・長渕剛・YMO・矢沢永吉のメディアプランニングやクリエイティブ担当経てA&Rプロデューサーに。2002年に(有)ソングイズラブを起ち上げ、DREMAS COME TRUEや吉川晃司のメディアプラニングを担当したり、よしもとアールアンドシーでは製作宣伝統括本部長にも就任。そのサニーサイドアップでは大黒摩季のチーフマネジャーやライツ事業部長に。大黒摩季の2010年活動休止後は、SHOW-YAプロデュースのNAONのYAONのメディアディレクションとキャスティング、インディーズ時代のandropのプランニングにも関わるなど幅広く活動。

【到達目標】
1年企画コース及びマネージメントコースの学生に対しての業界基礎知識はもちろん、実学と雑学レクチャーし、
就職に結びつけることを目的とします。

授業計画・内容

1回目	考える力と意識の変化「マネージャーの仕事・心構え」「ライブ制作会社の仕事内容」 ・マネージャーとして何が必要か求められるかその十ヶ条などをレクチャー・ライブ制作会社とは何か、その中身を具体的に理解・人としての基本的な礼節も含めてエンタメ業界で働く楽しさと意義を具体的に学ぶ
2回目	ディグする力と発言する意識付「プロモーションとその意味」「イベンターの役割と仕事内容」 ・プロモーションの目的は、CDの売上げ、ライブ動員増。メディアからSNSなどそれぞれのアーティストにあったメディアのチョイス、効果を考える・コンサートやライブには欠かせないイベンターという仕事を理解
3回目	基礎知識を身につける「楽器の知識」「リハーサルでのセッティング」 ・4リズム、Drum、Guitar、Bass、Keyboardなどのバンドにおける役割と最低限　の楽器知識・リハでのセッティングを覚える
4回目	理解力と行動力の向上「タイアップの役割」「楽器と組み立ての基礎知識」 ・昨今はCDセールスというよりも認知度アップとしての役割を担うタイアップ、獲得までの裏側、音楽出版社の役割を知る・Drumの組み立て、ギターのチューニング、など現場で求められる知識と動きを体感
5回目	理解力とその理解を口頭で語る、弁達力を意識「レコード店の役割」「販促営業」 ・レコード店の役割・そのレコード店へのレコード会社及びレーベルの仕事内容を速く
6回目	考える力とppt基礎知識「TVプロモーションとその効果」「ツアーの組み立てと行程表作成」 ・朝何気なく目にする、ZIP!やめざましテレビ。まだまだTVの影響力は大きい。TVを効果的に使うプロモーション。事業部と連動した展開を説明・ツアースケジュールの具体的な組み立て、行程表も作成までを学ぶ
7回目	想像力と検索する力「ヒット感」「フェス人気の理由」 ・CDセールスだけでは計れない、ヒットという言葉。その定義！世代や個々で変化するヒット感を考える・まだまだ続くフェス、その人気の理由となぜ人が集まるかを分析
8回目	集団の中でのコミュニケーション力(グループ学習) ・TV番組リサーチ(東阪)・その視聴率と影響力の分析
9回目	考える力と吸収力「新人の発掘と育成」「育成ポイント」 ・新人発掘、才能の発掘、その目利きポイント・育成とはメジャーでビューからブレークまでのことを言う、その成功の鍵を学ぶ
10回目	集団の中での個人の役割と責任(グループ学習) ・新人のブレークするポイントやきっかけを分析・2018年～2019年でブレークしたアーティストのマーケティング
11回目	プレゼン能力と計算力「音楽業界と芸能界の違い」「FC運営とグッズ製作」 ・マネージメントは大きく音制連と音事協に別れます。その違いも含めて、音楽と芸能、総合マネージメントの存在を理解し、収支構造を学ぶ・マネージメントに欠かせないのがFC運営とグッズ販売、その基礎知識を学ぶ
12回目	発言力と応用力「アーティストの方向性と目標設定」「ステージセッティング図の作成」 ・アーティストを売る上で必要な方向性、数字の目標設定をフローチャートで理解し、時系列を作成・ライブやイベントに欠かせないのはセッティング図、簡単なセッティング図の書き方を学ぶ
13回目	数字の理解と編集能力「著作権とアーティスト印税」「前期のまとめと課題」 ・簡単な印税計算を学び、説明できるまでになる・前期の授業がどう実になってるか、夏休みの課題とレポート作成＝まとめ方も学ぶ
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	目標に向かって頑張りましょう

【使用教科書・教材・参考書】
オリジナルテキスト、You Tube、Web、オリコン、SNS他

神戸・甲陽音楽ンス専門学校
シラバス

科目名（英）	プランニングベーシック Planning basic	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習・講義	総時間	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】
音楽業界に求められる人材、その為に自分の得意分野をもつこと、さらには現場のまめ知識と雑学、などがテーマ。

【実務者経験】中央大学商学部卒業後、イルカオフィス入社しマネージメントを学ぶ。その後レコード会社の東芝EMIでは宣伝で主にテレビ＆ラジオメディアを担当し、小沢健二・黒夢・布袋寅泰・長渕剛・YMO・矢沢永吉のメディアプランニングやクリエイティブ担当経てA&Rプロデューサーに。2002年に(有)ソングイズラブを起ち上げ、DREMAS COME TRUEや吉川晃司のメディアプラニングを担当したり、よしもとアールアンドシーでは製作宣伝統括本部長にも就任。そのサニーサイドアップでは大黒摩季のチーフマネジャーやライツ事業部長に。大黒摩季の2010年活動休止後は、SHOW-YAプロデュースのNAONのYAONのメディアディレクションとキャスティング、インディーズ時代のandropのプランニングにも関わるなど幅広く活動。

【到達目標】
1年企画コース及びマネージメントコースの学生に対しての業界基礎知識はもちろん、実学と雑学レクチャーし、
就職に結びつけることを目的とします。

授業計画・内容	
1回目	考える力と実践する適応力　SNSプロモーション」「SNSプロモーション実践」 ・SNSプロモーションの現状　・SNSを実践し、フォロワー数の伸びを体感
2回目	基礎の確認と柔軟性「楽器の知識応用編」「リハーサルセッティング」 ・楽器の知識の確認とそのセッティング・リハーサルのおけるアコースティック編成にセッティング
3回目	資料作成のレベルアップ「グループ授業」 ・SNSのアーティスト別分析とデータまとめ・イベント企画書のブラシュアップ
4回目	発想力と交渉力「イベントを企画しよう」「イベント運営の難しさ」 ・イベントの企画書を作成・出演交渉の実践と運営の難しさを学ぶ
5回目	理解力とイメージ力「マーケティングにおけるペルソナ」「ペルソナからイメージするデータ」 ・音楽業界におけるマーケティングとは何か・ペルソナを描くことでユーザーのライフスタイルから購買意欲ポイントをデータ化
6回目	積極性と発言力「マネージャーの仕事応用編」「先輩マネージャーからのメッセージ」 ・マネージャー仕事の応用編・滋慶の先輩メッセージから現場感覚を学ぶ
7回目	読解力「流通」「サブスクリプション」 ・CDの流通、アナログ販売のフローチャート・デジタル販売の現状とマーケット
8回目	積極性と発言力「ライブ制作会社の仕事応用編」「先輩からのメッセージ」 ・ライブ制作会社仕事の応用編・滋慶の先輩メッセージから現場感覚を学ぶ
9回目	対応力とコミュニケーション力「エントリーシートの書き方」「面接での見せ方」 ・就活に向けた授業・エントリシートでも面性でも自分色をどう出すか、どういう印象を残すかを学ぶ
10回目	プレゼン能力と分析力「模擬面接」「自己修正」 ・就活に向けた授業　・模擬面接を映像で撮影自己分析し、その修正
11回目	分析力と主体性「2020ブレークするアーティストのディスカッション」「後期授業のまとめ」 ・グループディスカッションで話すことに慣れる＝就活の面談への対応力を養う・後期の授業をどう就活にいかすか、課題としてのレポート作成＝エントリシートにも活用
12回目	就活への準備（補講:業界ゲストを迎えて） ・音楽業界からのゲストを迎えた特別授業～音楽業界への就活とは～、～音楽業界で欲しい人材～
13回目	ワークショップ(海外研修)
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	目標に向かって頑張りましょう

【使用教科書・教材・参考書】
You Tube、Web、オリコン、SNS他

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ライブ制作（Concert Production）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間（単位）	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】ライブ、イベントの制作を通じ、通常の授業で習得したPAの技術・知識を発揮し、実践力を習得する。

【実務者経験】有限会社津川プロにて、音響エンジニアとして勤務後、代表取締役社長に就任。関西を中心に、音楽ライブ、ダンスイベント、ミュージカル等の音響エンジニアとして活躍中。

【到達目標】
ジャンルや種類、内容に囚われず、柔軟に対応してイベントそのものを成功まで到達させることができるようになる。

授業計画・内容	
1週目	イベント制作とは：PA／照明／制作／運営 各セクションの役割
2週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
3週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
4週目	ライブイベント制作実践①
5週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
6週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
7週目	ライブイベント制作実践②
8週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
9週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
10週目	ライブイベント制作実践③
11週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
12週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
13週目	ライブイベント制作実践④
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ライブ制作（Concert Production）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間（単位）	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】ライブ、イベントの制作を通じ、通常の授業で習得したPAの技術・知識を発揮し、実践力を習得する。

【実務者経験】有限会社津川プロにて、音響エンジニアとして勤務後、代表取締役社長に就任。関西を中心に、音楽ライブ、ダンスイベント、ミュージカル等の音響エンジニアとして活躍中。

【到達目標】
ジャンルや種類、内容に囚われず、柔軟に対応してイベントそのものを成功まで到達させることができるようになる。

授業計画・内容	
1週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
2週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
3週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
4週目	ライブイベント制作実践⑤
5週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
6週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
7週目	ライブイベント制作実践⑥
8週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
9週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
10週目	ライブイベント制作実践⑦
11週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
12週目	ライブイベント制作実践⑧
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ライブ制作（Concert Production）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間（単位）	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】ライブ、イベントの制作を通じ、通常の授業で習得したPAの技術・知識を発揮し、実践力を習得する。

【実務者経験】国家事業系イベント　セクション管理・式典進行/金沢マラソン　フィニッシュエリア全体統括/
大阪マラソン　特別ランナー対応（著名人・有名人）統括管理/USJ　期間アトラクションマネジメント管理、進行管理（SM）
各種コンサート　進行チーム/各種イベント　運営・企画・制作・舞台監督・進行・制作・演出　他

【到達目標】
ジャンルや種類、内容に囚われず、柔軟に対応してイベントそのものを成功まで到達させることができるようになる。

授業計画・内容	
1週目	イベント制作とは：PA／照明／制作／運営 各セクションの役割
2週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
3週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
4週目	ライブイベント制作実践①
5週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
6週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
7週目	ライブイベント制作実践②
8週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
9週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
10週目	ライブイベント制作実践③
11週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
12週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
13週目	ライブイベント制作実践④
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ライブ制作（Concert Production）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間（単位）	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】ライブ、イベントの制作を通じ、通常の授業で習得したPAの技術・知識を発揮し、実践力を習得する。

【実務者経験】国家事業系イベント　セクション管理・式典進行/金沢マラソン　フィニッシュエリア全体統括/
大阪マラソン　特別ランナー対応（著名人・有名人）統括管理/USJ　期間アトラクションマネジメント管理、進行管理（SM）
各種コンサート　進行チーム/各種イベント　運営・企画・制作・舞台監督・進行・制作・演出　他

【到達目標】
ジャンルや種類、内容に囚われず、柔軟に対応してイベントそのものを成功まで到達させることができるようになる。

授業計画・内容	
1週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
2週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
3週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
4週目	ライブイベント制作実践⑤
5週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
6週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
7週目	ライブイベント制作実践⑥
8週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
9週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
10週目	ライブイベント制作実践⑦
11週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
12週目	ライブイベント制作実践⑧
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ライブ制作（Concert Production）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間（単位）	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】ライブ、イベントの制作を通じ、通常の授業で習得したPAの技術・知識を発揮し、実践力を習得する。

【実務者経験】 1998年鶴見花博メインホール・1999年4月～2001年10月新神戸オリエンタル劇場照明技術担当・2002年4月～2005年7月梅沢劇団にて照明ツアーメンバーとして業務にあたる。2005年9月～2008年8月新神戸オリエンタル劇場照明チーフ・2009年7月有限会社プラム入社

【到達目標】
ジャンルや種類、内容に囚われず、柔軟に対応してイベントそのものを成功まで到達させることができるようになる。

授業計画・内容	
1週目	イベント制作とは：PA／照明／制作／運営 各セクションの役割
2週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
3週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
4週目	ライブイベント制作実践①
5週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
6週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
7週目	ライブイベント制作実践②
8週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
9週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
10週目	ライブイベント制作実践③
11週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
12週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
13週目	ライブイベント制作実践④
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ライブ制作（Concert Production）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間（単位）	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】ライブ、イベントの制作を通じ、通常の授業で習得したPAの技術・知識を発揮し、実践力を習得する。

【実務者経験】 1998年鶴見花博メインホール・1999年4月～2001年10月新神戸オリエンタル劇場照明技術担当・2002年4月～2005年7月梅沢劇団にて照明ツアーメンバーとして業務にあたる。2005年9月～2008年8月新神戸オリエンタル劇場照明チーフ・2009年7月有限会社プラム入社

【到達目標】
ジャンルや種類、内容に囚われず、柔軟に対応してイベントそのものを成功まで到達させることができるようになる。

授業計画・内容	
1週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
2週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
3週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
4週目	ライブイベント制作実践⑤
5週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
6週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
7週目	ライブイベント制作実践⑥
8週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
9週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
10週目	ライブイベント制作実践⑦
11週目	次回イベントに向けての各セクションごとの準備
12週目	ライブイベント制作実践⑧
13週目	ワークショップ（海外研修）
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	英会話 GLOBAL COMMUNICATION	必修選択	必須	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科 昼間I部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前期(半期)

【授業の学習内容】
日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。

【実務者経験】
・Jackson Abatemarco（ジャクソン・アバテマルコ）:日本では2018年よりお子様や高校生を対象に英語教授経験あり。
・Ceasar Rodriguez（シーザー・ロドリゲス）:2010年より企業や英会話教室などで幅広い年齢層に教授経験あり。

【到達目標】
様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。

授業計画・内容	
1回目	L. 1 授業計画の説明、プレテスト、初対面のあいさつ～お別れまでの会話が出来る。、プレテスト
2回目	L. 2 & 3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答えが出来る。
3回目	L. 5 & 6　好き・嫌い等の好みについての会話が出来る。
4回目	L. 8　意見を尋ねる/意見を述べる。お誘いを受けた際の返答が出来る。
5回目	L. 11 & 12　人を褒める＆褒められた際の会話表現。（衣服など）着ているものに関して述べることが出来る。
6回目	L. 7, 13, & 14　時間について表現する。日々の習慣について話す＆質問できる。
7回目	L. 19 & 20　道案内をする・場所を尋ねることが出来る。
8回目	L. 21 & 23　数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えが出来る。
9回目	L. 28　料理の味や材料について＆レストランでのオーダーが出来るようになる。
10回目	L. 29 & 30　過去の出来事について話す＆質問できる。
11回目	L. 31　自分の体験について話す＆それに対するリアクションや返答が出来るようになる。
12回目	L. 32　週末や未来の予定について話すことが出来る。
13回目	総復習
14回目	本試験
15回目	試験返却、解説、ポストテスト
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】
Speak Now1

科目名（英）	音楽史（Music History）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	商業音楽科　昼間I部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前期(半期)

【授業の学習内容】 コムグルームのOSMで20年近くに渡り音楽史を教えたノウハウをもとに、講義の中では事例としてアーティストの楽曲を聴くだけでなく、ライブ動画やPVなども豊富にプロジェクションすると共に、ニュース映像も紹介することから、時代背景と共にポピュラーミュージックの歴史を学ぶ。

【実務者経験】幼少期から小学生時代にかけてピアノやトランペットなど多くの楽器に触れ、中高生時代を通じ独学で作曲活動を始める。1993年3月大阪芸術大学音楽学科卒業後、1995年3月武庫川女子大学大学院修士課程を修了。1998年プライヴェート・オフィス・ミニスタジオを設立し、2009年法人化。在学中からファッションショーの音楽制作をはじめ、株式会社フェイスのベンチャー・スタッフとしてゲームやCMなどの商業音楽も数多く手掛ける。一方では、サウンドアーティストとして美術館やギャラリーなどで多くの現代音楽家・現代美術家らと共演、自らの作品も発表する。テクノバンド“A.C.E.”、“EP-4 unitP”“salbattle”などでは、海外ツアーも経験。現在はラジオ関西やFM MOOVでも音楽カルチャー番組を手掛けるなど、その活動は多方面に及ぶ。

【到達目標】 本授業を学ぶことにより、卒業後に業界団体に携わる際、最低限必要となる一般的な音楽知識を身につけることが到達目標である。

授業計画・内容	
1週目	●2010年代から過去へと遡り、現在のヒットチャートに直接関係する原点を探る。
2週目	1940年代～ ●ラジオの普及とメディアの発達など。 ○ロックンロール
3週目	1950年代～ ○サーフ&ホットロッド ○アイドルポップ ○ソウル
4週目	1960年代～ ●公民権運動など ○フォークとブリティッシュビート、フォークロック ●スタジオ技術の発展とPA機器の発達 ○サイケデリックロックとアートロック
5週目	1970年代～ ●音楽産業発展の時代 ○フレンチポップ ○プログレッシブロック ○モッズ ○グラムロック ○パブロック ○ファンク～ディスコ
6週目	1970年代～ ○シンガーソングライターとAOR ○サザンロックとウェストコースト ○ハードロックとブルースロック ○ヘヴィメタル（～2000年代）
7週目	1970年代～ ●アンダーグラウンドシーンの登場 ○パンク～ニューウェイブ ○レゲエ～ダブ ●音楽とファッション
8週目	1980年代～ ●音楽スタジオと電子機材 ○エレクトロニックポップとテクノポップ ●新しいブラックミュージックの登場 ○ブラックコンテンポラリー ○エレクトロニックファンク～ヒップホップ ●MTVとスーパースター
9週目	1990年代～ ●クラブミュージックの隆盛 ○アシッドジャズ ○マッドチェスター ○テクノ ○ヒップホップ～R&B
10週目	1990年代～ ●オルタナティブシーン ○グランジ ○ミクスチャー ○ラウドロック ○ハードコア～メロディックコア ○ヘビーロック ○インダストリアル
11週目	2000年代～ ●ロックミュージックの新たな地平 ○ポストロック ○ニューウェイブリバイバル、など
12週目	2010年代～ 現在のアーティストを中心に
13週目	●音楽とボランティア、社会活動～フェスティバルの開催、など、について
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	日常的に耳にしている音、音楽を意識的に聴くことにより、その音楽のバックグラウンドやルーツと関連付けられる習慣を身につける訓練をする。
評価方法	毎回授業に出席しているか（出席率）。講師の質問に受け答えができるか、また授業態度は適切か（平常点）、など。これらを軸に評価付けするものとする。
受講生へのメッセージ	興味のないジャンルや時代の紹介であっても居眠りはしない。ましてや私語により周囲へ迷惑をかけることは慎むこと。リラックスして「音」を「楽」むことから、自分にとって僅かでも新たな音楽との出会いになりますように。

【使用教科書・教材・参考書】 本学指定のテキストを使用。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	照明概論 Introduction to Stage Liting	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
		授業形態	講習	総時間	120	開講区分	前期
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部						

【授業の学習内容】実習においては触れにくい細かいところを1つ1つ掘り下げて学習する。

【実務者経験】KEREN　喜納昌吉＆チャンプルーズ　歌舞伎鑑賞教室　松竹新喜劇　よしもと新喜劇　各種企業イベント

【到達目標】舞台・テレビジョン照明技術者技能認定2級の合格

授業計画・内容	
1週目	イントロダクション
2週目	業界概論
3週目	業界概論
4週目	舞台概論
5週目	舞台概論
6週目	照明概論
7週目	照明概論
8週目	器具について
9週目	器具について
10週目	器具について
11週目	色について
12週目	色について
13週目	前期の総ざらい
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	機会がある限る極力機材に触れること
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	わからないことは質問して下さい。双方向な授業になるよう心掛けてください。

【使用教科書・教材・参考書】・ステージ舞台照明入門（デジタル教材）　・舞台・テレビジョン照明技術者技能認定試験問題集（2級）
・舞台・テレビジョン照明基礎編　　全て入学時購入済み

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	照明概論 Introduction to Stage Liting	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
		授業形態	講習	総時間	120	開講区分	後期
学科・コース	商業音楽科・昼間・Ⅰ部						

【授業の学習内容】実習においては触れにくい細かいところを1つ1つ掘り下げて学習する。

【実務者経験】KEREN　喜納昌吉＆チャンプルーズ　歌舞伎鑑賞教室　松竹新喜劇　よしもと新喜劇　各種企業イベント

【到達目標】舞台・テレビジョン照明技術者技能認定2級の合格

授業計画・内容	
1週目	照明制御について
2週目	照明制御について
3週目	照明制御について
4週目	電気について
5週目	電気について
6週目	安全について
7週目	安全について
8週目	安全について
9週目	現場に関連する知識について
10週目	現場に関連する知識について
11週目	現場に関連する知識について
12週目	後期総ざらい
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	機会がある限る極力機材に触れること
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	わからないことは質問して下さい。双方向な授業になるよう心掛けてください。

【使用教科書・教材・参考書】・ステージ舞台照明入門(デジタル教材)　・舞台・テレビジョン照明技術者技能認定試験問題集(2級)
・舞台・テレビジョン照明基礎編　　全て入学時購入済み